

さぴあ クロスワードパズル

3コのヒント

(2024年5月)

- 1 パリオリンピックでの活躍が期待されるサッカー日本女子代表の愛称、「〇〇〇ジャパン」。

4 アフリカ東部を流れる〇〇〇川。古代エジプト文明を生み、「エジプトは〇〇〇のたまもの」と称されました。

6 態度・気持ちが落ち着いていること。「〇〇〇〇を装う」などと使います。

8 地球の軌道のすぐ外側を公転している赤色に見える惑星。

10 仏教・イスラム教とともに世界三大宗教の一つである〇〇〇〇教。

12 新年度が始まりました。特に6年生は〇〇のない1年間をお過ごしください。

13 紀元前1世紀ごろから約700年間、朝鮮半島北部から現在の中国東北地方にかけて栄えた国。^{しらぎ}668年、唐・新羅の連合軍に滅ぼされました。

14 効き目や結果がたちまち表れる様子。「効果〇〇〇〇」などと使います。

15 数え61歳(満60歳)は「^{かんねき}還暦」。では、数え70歳(満69歳)は?

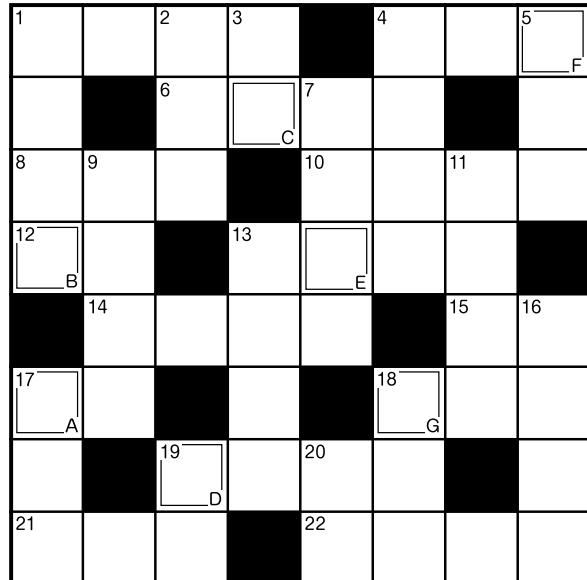
17 〇〇打ち、〇〇を突く、〇〇を食らう。〇〇に共通することばは?

18 〇〇〇玄白は江戸時代中期の医師・蘭学者。^{まえのりょうたく}前野良沢らと、オランダの解剖書『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、『解体新書』として出版しました。

19 主要国首脳会議や、最高責任者どうしによる会談を英語でいうと?

21 〇〇〇にかける。「自分で世話をし、大切に育てる」という意味です。

22 ^か蚊の幼虫。長さ数mmくらいのひものような形で、水中にすみ、くねくねと運動し、浮き沈みしています。



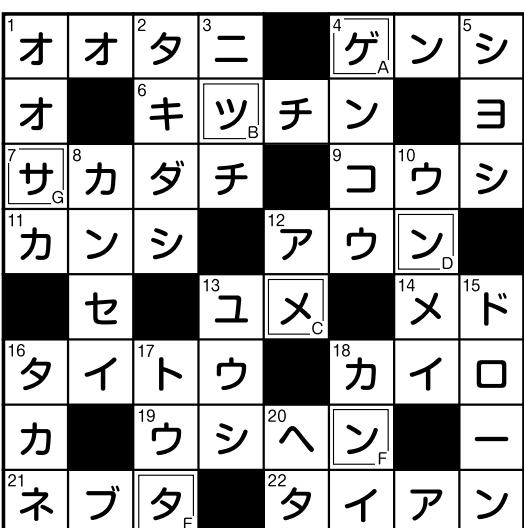
【管子】

A	B	C	D	E	F	G

前月号の解答と解説

【答文】

A	B	C	D	E	F	G
ゲ	ツ	メ	ン	タ	ン	サ



★月面探査

日本時間の1月20日午前0時20分ごろ、日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開発した探査機「SLIM」が月に軟着陸しました。目標としていた着陸地点との誤差が約55mという“ピンポイント着陸”に成功したものの、想定ど異なる姿勢になったことから、搭載している太陽電池パネルに光が当たらず、作業に必要な発電ができませんでした。しかし、その後、日照の向きが変わったことで電力が復旧。搭載している特殊なカメラを使って、月の起源の解明につながる期待されるさざまな岩石を撮影しました。

探査機の月面着陸は世界で5か国目です。最初に月着陸を成功させたのは旧ソ連（現在のロシアなど）。1957年に世界初となる人工衛星「スプートニク1号」を打ち上げた同国は、1961年に「ポストーク1号」による世界初の有人宇宙飛行を成功させると、1966年に探査機「ルナ9号」を月に着陸させました。2番目はアメリカです。1969年7月、「アポロ11号」によって人類史上初となる有人月面着陸を成功させ、月の石を地球に持ち帰りました。そして、2013年12月には中国の「嫦娥3号」が、2023年8月にはインドの「チャンドラヤーン-3号」が月面着陸に成功しました。

年12月には中国の「嫦娥5号」が、2023年にはイントループ「ブランチ」が月面着陸に成功しました。月の探査には膨大なコストがかかります。ソ連が最初に成功した「ルナ24号」(1976年)から中国の成功まで37年が空いたのも、高コストが理由です。それが最近になって再び活発になっているのは「氷」の存在です。月に氷があれば、飲料水や食料の現地生産も可能です。水を電気分解すればロケットの燃料になる水素や酸素も得られます。月面に生活圈を築くことも夢ではなく、火星などの惑星探査の拠点にすることもできます。氷は太陽光がほとんど当たらない月の南極や北極に存在する可能性が高いといわれています。それを最初に利用して月開発の主導権を握ろうと、各国が競争を繰り広げているのです。

60

- 1 大谷（おおや）
 - 4 元始（げんし）
 - 6 キッチン
 - 7 逆立ち（さかだち）
 - 9 孔子（こうじ）
 - 11 監視（かんし）
 - 12 あうん
 - 13 薙（ゆめ）

八二

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 大坂、大阪
(おおさか) | 12 雨 (あめ) |
| 2 炊き出し (たきだし) | 13 有志 (ゆうし) |
| 3 にっち | 15 ドローン |
| 4 元寇 (げんこう) | 16 高嶺 (たかね) |
| 5 初志 (しょし) | 17 淘汰 (どうた) |
| 8 慣性 (かんせい) | 18 簡易 (かんい) |
| 10 運命 (うんめい) | 20 下手 (へた) |